

令和8年度 第3回協働のまちづくり推進委員会 会議録

日 時	令和8年7月29日（水） 14：00～15：20
場 所	本庁舎3階第3会議室
出席委員	清水会長、小川副会長、岡野委員、渡邊委員、吉木委員、武重委員、 瀬良委員、牧野委員
欠席委員	中村委員、平川委員、四本委員、二枝委員
事 務 局	市民活動推進課 太田課長、竹村、柴山 まちづくりコーディネーター 吉見
傍 聴 者	0名

[会議次第]

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

(1) 第3次富里市協働のまちづくり推進計画策定に伴う方向性について

4 そ の 他

(1) 実施事業及びとみさと市民活動サポートセンターについて

(2) その他

5 閉 会

[会議概要]

	(開会)
	－「協働のまちづくり推進委員会の運営に関する要綱」第3条第1項により、会長が議事の進行を務める－
会長	次第3 議題 (1) 第3次富里市協働のまちづくり推進計画策定に伴う方向性について事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料1「第2次富里市協働のまちづくり推進計画（改訂版）実行計画事業の評価と課題について」、資料2「第3次富里市協働のまちづくり推進計画骨子（素案）」をもとに説明－
会長	ありがとうございました。まず資料や全体に関する御質問はございますか。
各委員	－特になし－
会長	本日は、第3次推進計画の方向性をどうするのがテーマとなっています。具体的には、資料2にある見出し等について、このような分類でよいのか、各分類の表現はこれでよいのか、もっとセンスの良い、インパクトがある言葉などの御意見をいただければと思います。資料2の2枚目以降は、節ごとに関連する事業が載せてある資料です。どのような事業が含まれているのかが見えないと議論しにくいと思いますので、こちらを参考に進めていきたいと思います。 第1節について第2次推進計画では、活動の醸成をし、一定程度できてきたということから「活動の活性化」という言葉になっています。 第2次推進計画の中間支援組織、市民活動サポートセンターの強化は、様々な事業を応援していく内容であることから第3節へ移動させ、活動資金に関する項目で分かれていた「市民活動支援補助金」と「ちい寄附」をまとめて、（3）担い手と（4）地域づくり協議会に関する項目を1つずつ繰り上げる構成になっています。 また、第3次推進計画では、地域のネットワークというよりもう少し日常的な付き合いからつながりを作っていくという視点で、共同体というイメージが強い、地域コミュニティという言葉がいいのではないかとというたたき台ですが、御意見等いかがでしょうか。 それでは私から、第1節「（1）活動資金の支援及び確保」について活動資金について何かをする支援ことなのかというところから「活動資金の調達の支援」と言った活動資金を市民活動団体が得るニュアンスを

	持った言葉があるといいのかなと思いました。
A委員	第1節「活動活性化支援」は、しっくりこない。「市民活動の活性化支援」ということではないかと思います。
会長	ありがとうございます。「市民活動の活性化支援」とのことですが、少し責めた表現では「多様な主体」や「多様な担い手による」を加えた活動の活性化支援などもあるかと思います。
B委員	「資金」という言葉のニュアンスを大事にするのであれば、「支援」ではなく「応援」の方がわかりやすい気がします。
会長	市民活動については、活動の支援や醸成で周知は図られてきていますが、「（3）地域づくり協議会等の地域コミュニティの活性化」については、地域づくり協議会の活動内容や実態が市民に知られていないように思われます。資料1の5ページに関連する意見がいくつかありましたが、「市民に対する周知の充実を図る施策を期待する」とありましたし、前回の委員会でも地域づくり協議会がどのような活動をしているのかわからないという御意見もいただいています。委員の皆様でもそのように感じていらっしゃる中で、地域づくり協議会は、知られているものとして進められていますので、協議会の周知が必要なかと思います。 もう1点、前回の委員会で、関谷先生からこれまでの市民活動支援は、課題を解決するための取組や課題を解決する団体への支援が中心だったが、今後は、「地域愛着系」といった地域のために何かやりたいという人の参加を促進する取組が重要になってくるとの講義がありました。この点について、第3次推進計画でも地域づくり協議会を引継ぐ形になっています。地域づくり協議会は、地域コミュニティの基盤になりますが、地域づくりは、様々な人が参加してもいいものです。自治会、区長、地区社協、補助金で採択された団体、子育て支援、親子の居場所づくり、里山保全など、地域ではいろいろな活動がされていますので、それらがまとまって地域コミュニティなのかと思います。（3）に「地域づくり協議会等」が書かれていることによって狭い範囲に限定されてしまいます。次回以降の検討事項ですが、（3）については、地域づくり協議会の事業を市民に知っていただくということを盛り込んで「地域づくり協議会の周知」、「地域愛着系の参加を促進する仕組み」、それらを応援する「地域づくり協議会の活性化」という形で広く捉えたらどうかと思います。
B委員	「地域づくり協議会」が書かれていると「地域づくり協議会」だけの

	内容になってしまうので、（３）から「地域づくり協議会等」という言葉を削除し、今後検討する実行計画の中で「地域づくり協議会」を入れることでいいと思います。
C委員	第１節の（１）に活動資金についてですが、私の感覚では「資金」はあくまでも何かをするための手段であって、手段が一番先にくることに違和感があります。例えば、市の予算、補助金がなくても市民活動の活性化をやるべきであって、おまけとして、資金もサポートしますというのがいいのではないかと。
会長	ありがとうございます。確かに２番目なのか、もしくは思い切って３番目なのか、貴重な意見だと思います。ほかにはいかがですか。
各委員	ーなしー
会長	それでは第２節です。第２次推進計画では、情報の発信や交流の場づくりが中心でしたが、情報発信の部分がスリムになり、情報発信することから生み出されるものとして、「多様な主体の交流・共創」というのがメインに位置づけられています。こちらについてはいかがでしょうか。
A委員	「情報の提供・共有」については、市内ではどのような活動が行われているのか、情報を収集するだけでなく、もっと現場にアウトリーチしていくということも必要ですので、「情報の収集・提供・共有」としていただけたらと思います。
会長	情報を取りに行つてほしいという趣旨の御意見だと思います。ほかにはいかがでしょうか。
D委員	今の意見で「情報の収集・提供・共有」とありましたが、そのあとに「活用」を入れたらいかがでしょうか。
会長	情報を共有したあと活用するということで、何を生み出すのか。第２次推進計画では、情報の提供、共有で終わっているところをもう一歩進めるということですね。 新しい方向性、ポイントの一つとして、交流から様々な人が出会って新しいものを生み出していくということを「共創」という言葉で表現しています。第２節は「共創」が一つのキーワードだと思います。「共創」があってもいいのかなと思いました。 市民も多様ですし、事業者、行政がいろいろな主体があります。また、

	今後は、企業、事業者とともに活動するという部分は重要になっていくと思います。「多様な主体」というのを強調できるとよいと思います。ほかにはいかがでしょうか。
各委員	ーなしー
会長	それでは第3節です。この部分は大幅に拡充された部分です。これまでは市単独の取組でしたが、これからは市、市民、事業者もみんなで作って進めていく、より広い主体や担い手に関われる場所を「プラットフォーム」という新しい言葉を用いて表現しています。誰でも出入りができ、様々な人が交わることで、出会い、新しい取組みを始めるきっかけの場づくりです。その中にサポートセンターの取組も位置づけ、協働の専用ツールも引継ぎ、インターネットやホームページを通じて登録、検索ができるものとして位置づけています。
A委員	第2次、第3次推進計画にもある「協働のまちづくりを推進する課の充実」について、これは、課自体を充実させることなののでしょうか。人事や人数のことなのであれば、この項目に入るのはそぐわないと思います。実際は、そのようになってほしいですけれども、職員研修は別の枠にありますし、気持ちはわかりますが、この項目としてはここに置くのはどうかと思います。協働の意識の向上、職員と市民と、課の充実はそれぞれどこがふさわしいのか、この部分は、少し疑問に思います。
会長	「協働のまちづくりを推進する課の充実」は、市民活動推進課の取組の充実というのが入るのか。次の段階で検討していく内容になるとは思いますが、このタイトルを引き継ぐとわかりにくいという御意見です。
事務局	第2次推進計画では、市民活動推進課の職員とコーディネーターによる定期的な会議の開催や、庁内組織もございますので、組織間での連携を進めていくということが主な内容となっています。
会長	市民活動推進課の人数を増やすということなど求めたいところですが、課の取り組みの強化を意味しているのだと思います。
A委員	庁内連携、課を超えた連携がなければ協働というのは進まないと思います。
会長	第2次推進計画でも庁内連携に関する項目が含まれていたと思いますが、研修の実施でしょうか。他課の職員にも市民と連携して、協働して

	いくことを理解していただく必要があります。ある時期から、市民活動支援補助金の審査会に関連する担当課の職員が参加するようになったことはすごくいいと思います。参加していただき、その活動からつながりが生まれていく機会になればいいと思います。庁内連携は是非とも進めていただきたいと思います。 全体の構成、位置づけについては、第1節と第2節の取組を進めていく体制、それをどのように進めていくかという体制の整備に関わる場所です。サポートセンターがあり、情報・デジタルツール、インターネット関係があり、さらに中間支援組織があるという形で構成としては整理されていると思います。 ほかには、いかがでしょうか。
E 委員	第1節(1)は、立ち上げ支援、スタートアップの支援ということで、2～3年支援することになっています。資金の支援はあると思いますが、新しい事業を支援するというイメージが強いと思います。(2)は、担い手を育てていく部分であり、(3)は既存のコミュニティを支援するという流れなのかと思います。先ほどC委員がおっしゃっていたお金だけの支援であれば、順番を下げるのもよいかなと思いますが、「活動のスタートアップをしばらく支援する」と捉えるとそれがなくなってしまう気がします。
会長	活動資金をイメージしていた時のお話だと思いますが、「立ち上げ支援」はどこに入るのでしょうか。市民活動支援補助金に「スタート支援」がありますので、そのような捉え方もできるのではないかと思います。
B 委員	一番上に「活動資金」が来ているのは、最初に制度を作ったときに何もない状態から市からいくらか補助金をもらって、「この資金を有効に使って市民活動を各所で立ち上げてください」という趣旨だったので、一番上に来ている可能性があると思います。先ほどA委員も言われたように形態も変わってきているので、育ってきたものもあれば、行き詰っているものもあり、なかなか引継ぎができない状態など、いろいろな問題も含んでいる。活動資金が、一番上にあるのがいいのか、議論したうえで、2番目でも3番目でもいいと思います。たまたまいろいろな経緯があって一番上にある状態なので、見直すことは必要だと思います。
A 委員	B委員がおっしゃるとおり、第2次推進計画のときは、予算を確保して仕組みを作り、助成制度を作るというのは本当に念願のところでありました。それと同時にサポートセンターを作るということも10年前、市として思いがあったので、このような順番になっていると思います。

B 委員	それから 10 年がたち、第 3 次推進計画では、今の状況にあわせたものでよいと思います。 第 3 節の大きな題目についても「活動のプラットフォーム構築」ということから「協働・共創のプラットフォーム構築」に変更した方がよいのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。
会長	「共創」という言葉を散りばめた方がいいと思います。 「共創を生み出すこと」を目的とし、期待を込めるということですね。また、新しい言葉、トレンドとして「共創」、「プラットフォーム」、「多様な主体」という言葉を漏れなく入れていくことでいかがでしょうか。「多様な主体」は、それぞれが違うままでつながるということですよ。 「協働」だと、同じようになってしまうイメージになります。地域において、違うままくっついたり離れたりして、活動があるときはくっついて、活動が終われば離れていくというつながりがあってもいいと思います。 先ほど、E 委員がおっしゃった「立ち上げ支援」に関して、第 2 節（1）に「活動事例の紹介」があります。お金の面もそうですが、何か始めたいけど、ちょっとわからない人に「こんな活動があります」と教えたり、団体を紹介したりする内容が、ここに位置づいてもいいのかなと思います。そうすると、第 2 節の（1）にある活動事例の紹介や情報共有などが、「活動活性化の支援」より先に来るような気がしてきています。これまでは、活動の「醸成」だったので、最初にきていますが、現在「醸成」はできてきて、活性化のほうに力を入れることにしたので、第 2 節（1）は、最初の支援になると思います。また、第 2 節（2）は、「交流・共創」なので、もう少しあとの内容になるのかなど、活動の展開に即して考えると、どのような並び順にするのが妥当なのか、考える余地があるようにも思います。 この他にいかがでしょうか。F 委員はいかがですか。
F 委員	皆さんの意見を聞いて、もっともだとうなずきながら聞いていました。
会長	G 委員はいかがですか。
G 委員	まだ整理できない状態です。
C 委員	構成の部分ではないのですが、資金のことで事務局に質問があります。サポートセンターができる前ですが、市民活動団体をやっているときに市民活動支援補助金はなく、市内の公園を拠点に活動していたので、公

	園の管理協定を結んで、草刈りをする事で補助金がありました。ほかに資源回収をすることで、市だけでなく最上商会からお金が入る仕組みがあり、自分たちで活動していました。現在市内の子ども会が解散するなかで、今までグループの資金集めに、ごみ拾い、資源回収、公園をきれいにするなどいろいろな選択肢あったと思いますが、現在はどのような状況ですか。
事務局	C委員がおっしゃるとおり、市内の子ども会の活動は、なくなったため、資源回収に関する補助金はなくなったと記憶しています。公園の管理に関しましては、都市計画課で管理協定を結んだ団体と報償金を交付していると聞いています。
E委員	自治会長をやっていますが、資源回収については、子ども会から自治会で引き継いでいます。最上商会に回収してもらい、補助金は、「キロいくら」という形で決まっています。市の奨励金と最上商会からで、年間12万円ぐらいです。それから公園は、㎡単価が決まっていて、9万円弱ぐらいです。資源回収はできても、公園管理は9万円ではなかなかできない。うちの自治会はそのような状況です。
G委員	私が代表になっている富里第一小学校区まちづくり協議会ですが、市の補助金と構成している10の自治会から各自治会の世帯数に応じて、負担してもらって活動資金にしています。
E委員	今のお話で、市の補助金というのは、あくまでも区長に対する報償で、個人に支払われているものです。自治会によっては、区長が自治会の活動に対して払う自治会と、報償の3分の2を自治会に入れて残りを自分のものとするところとあります。
B委員	決まりはないのか。
E委員	個人に対して支払われるもので、給与所得になりますが、自治会によって違うと聞いています。
会長	区長さんや自治会同士で話し合ったりするのですか。
E委員	日吉台には連協があるので、そこで話したりします。
会長	そのほかの地区はどうなのでしょう。

B 委員	七栄地区の連協がありますが、単独でやっていると思います。
E 委員	日吉台や七栄のように大きな自治会であれば、活動資金の足しになることもあるとは思いますが、そういうところばかりではないです。
会長	自治会や地域づくり協議会については、詳しい方は、詳しいけれども、知らないと全然知らないという状況です。基本的な情報のはずですが、情報が共有されていないところもありますので、地域コミュニティの活性化はそのあたりの情報提供も改めて必要なのかと思います。 先ほど C 委員がおっしゃっていた資源回収の補助金など、いろいろな財源があるとお話ですが。
C 委員	市民活動団体として資源回収や公園管理は 3 年間という期限はないです。活動すれば、毎年安定した収入として見込め、会も安定できる道もあるのかなと思ったのでお聞きしました。
会長	さて、ここまでいろいろと御意見・アイディア出しをしていただきましたが、ここで資料 2 の 1 ページに戻り、たたき台として提示されているものについて、先ほどの順番の入替の話も含めて、どうするかを話し合いたいと思います。 活動資金の支援というところで、立ち上げ支援も含みますが、第 1 節は、「多様な担い手の発掘」が一番で、次に「地域コミュニティの活性化、最後に「活動資金の支援」という形でいかがでしょうか。
E 委員	第 1 節は、活動支援で、次に情報提供の関係で、最後にプラットフォームが入ってきて良いかと思います。
会長	その内容で大丈夫そうですか。今のところ資金面の順番を下げるという変更でよろしいでしょうか。
D 委員	第 3 節についてよろしいでしょうか。「活動のプラットフォーム構築」ではなく、「共創のプラットフォーム構築」に変更するのはいかがでしょうか。
会長	先ほども同様の御意見が出ていたように思います。 そのほかで、第 2 節（1）協働のまちづくりに関する情報発信の充実について、情報発信ではありますが、「活性化」、「立ち上げ支援」にも捉えることができるようにも思います。活動事例の紹介などは、立ち上げ支援と捉えると、活性化支援に含まれてもよいのではないかという気

	もします。 今のお話で、担い手発掘のための情報発信という考え方なのか、情報発信が先で、情報発信のための担い手の発掘なのか、それによって順番は変わってくると思います。情報発信が上位ということであれば、上に持ってくるべきだと思います。
B 委員	
会長	まずは、第 2 節の中に入れておくということでどうでしょう。それでは、第 1 節の入替をすることとして、言葉については、いろいろといただきましたので、事務局で作成をして再度御提案をいただくということではよろしいでしょうか。
各委員	ー特になしー
会長	ありがとうございました。また、その他として委員の皆様からございますか。
各委員	ー特になしー
会長	それでは、議題はすべて終了となりますので、進行を事務局にお返しします。
事務局	ありがとうございました。ただいまいただいた意見につきまして、反映させていただいた形で、計画の骨子案を作成し、皆様にご覧いただくよう進めたいと思います。 次に次第 4、その他に移ります。
事務局	(1) 実施事業及びとみさと市民活動サポートセンターについて ー実施事業の報告及び案内ー ・若者プロジェクト ・まちづくり交流会 ・ニュースレター Vol.40 ・とみさと協働塾 ・市民活動体験会
事務局	ただ今の説明につきまして、質疑などはございましたら、お願いします。
会長	若者プロジェクトについて、参加者があってよかったと思いますが、

	大学生は、富里から通っている方ですか。
事務局	市内在住で、富里から通っている方です。
事務局	他にございますか。ないようでしたら、(2) その他に移ります。
B 委員	(2) その他 －富里市消費者行政連絡協議会の報告
事務局	－その他連絡事項－ ・第4回協働のまちづくり推進委員会について 日時：8月21日（金）14時から市民活動サポートセンター 資料は、事前に郵送予定 ・第5回協働のまちづくり推進委員会の日程調整 9月25日（金）午後、10月2日（金）午後のいずれか
事務局	その他、ご確認等はございますか。 ないようですので、以上をもちまして、令和8年度第3回協働のまちづくり推進委員会を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。 (閉会)